

新宿区「和を伝えるプログラム」第2回

新宿ではじめての伝統文化体験

2017年11月29日(水) 会場=京王プラザホテル

主催=新宿区 制作=芸団協

外国人旅行者でも無料でふらっと立ち寄れる、日本の伝統文化体験イベントが新宿で開かれた。2回目は生け花と茶道。初心者にも優しく教えてもらえるが、その道の師匠に教わる本格的なものだ。

たとえば生け花体験。机の上には1人ずつ剣山入りの花器が置かれ、まずは一番長い枝ものを立てる。次に葉もの、そして花。言われるままにひとつずつ、3つの要素を上から見て三角形に配置してゆくと、それなりに美しい生け花が出来上がる。立体的な広がり、間と余白といった華道の技が、実に短時間に伝授される。なかなかの出来映えだと思ったのに、師匠が側で手直すと見違えるものになる。これが体験して初めてわかる、華道の奥深さだ。

茶道は椅子に座る立礼式なので、正座ができない人でも参加できる。歴史や作法について一通りの説明があり、茶道の初体験が叶う。他にも回によって内容は異なるが、琵琶など伝統楽器の演奏に加え、奏者の話を聞いたり、楽器を手にとれる機会も用意された。

2017年11月に始まったこのプログラムは、2/2(会場:新宿駅西口広場イベントスペース)、3/21(柿傳)にも開催予定。来年度も新宿各所で展開されることになっている。街なかの大道芸に足を止めるのと同じくらいの気軽さで、敷居が高いと思われた伝統文化を体験できる画期的なプログラムが始まった。



まずは、花材を水の中で切る「水切り」から、通訳とともにマンツーマンで



百合根を使った季節の和菓子、お抹茶をいただく作法もあわせて体験



ホテルのロビーでは、琵琶を手に迫力のある語りが目目を浴びた